

2020年度 3学期 聴講のための授業案内

3学期は11月19日(木)から2021年3月11日(木) 冬休み12月12日(土)～1月11日(月) 授業再開日は1月12日(火)

曜日	科目名	講師・教師	授業内容
火曜日	ギリシャ語釈義① (統語)	小澤和男師	ギリシャ語の初級文法を学んだ学生は、新約聖書の原文にあたりながら、ワレスの文法書を用いて、より深く、より正しく読む知識を積み重ねていきます。
	キリスト教史③	川崎憲久師	「知識もなしに言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。」(ヨブ記38:2) 歴史を知ることを通して、神の摂理に対する信仰の目が養われます。
	ローマ書	小澤和男師	難解と思われるローマ書ですが、パウロが用いている救いに関する動詞を手がかりにして、全体を整理しながらキリスト者の苦しみと神による励ましに目を留め、さらには自分の姿を振り返ります。
水曜日	ヘブル語文法①	松元 潤師	旧約聖書の原典であるヘブル語聖書を読み、理解するための基礎的な文法の学びです。 初めての方は「今学期」からご参加ください。
	教理史(15週)	吉永光生師	カルケドン公会議までに生み出された4つの信条を通して、初代教父と教理発展の歴史を学び、今日のキリスト教信仰の理解を深めます。
	旧約聖書通論③	吉田浩二師	通年)創世記から小預言書までを3学期かけて学びます。 各書を自分で読むことができるようになる「鍵」をお渡ししたいと思います。
木曜日	人間・罪論①	松元ハンナ師	聖書の示す人間観を学びます。 神に似た者として造られた人間でありながら、神との交わりを拒み、歪曲している罪の問題を組織神学の視点から捉え、人間とは何者なのかを共に考えます。
	異端・弁証論	吉永沙織師	キリスト教信仰が確かな根拠に基づいていることを学ぶとともに、キリスト教信仰に対する考え方、世界観をもつ人々に、私たちのもつ希望について弁明できるようになることを目指します。
	詩篇	ヴィッドマー師	詩篇の文学的、神学的特徴に注目し、成典化に至った経緯と現代に生きる私たちへのメッセージを考察します。 神と教会、神と私たちの関係が詩篇によって、更に深められることを目的とします。
金曜日	聖書地理	吉田麻希子師	聖書の時代のイスラエルの地理や文化を学ぶことを通して、より聖書を立体的に理解することを目標とします。写真や地図を見ながら、イスラエルの主要な都市やその町にまつわる出来事等を学びます。
	出エジプト記	ヴィッドマー師	旧約聖書中、最も重要な書と呼ばれることもある出エジプト記を学びます。 主なテーマは、神の御名と神の力の啓示、契約関係(十戒・律法)イスラエルのリーダーシップ、幕屋といけにえの関係など。
	新約聖書緒論	杉本 潤師	新約聖書が27巻に至った歴史や本文決定に至る背景(本文批評)を見、私たちの手にある新約聖書が神のことばであることの理解を深めます。 ※今年度は初級ギリシャ語文法を習得していない人でも履修できる内容にしています。
	Iコリント	中川昭一師	コリント教会は多くの問題を抱えた教会でした。 同時にそれはいつの時代の教会にも共通する問題です。コリント書から“教会病理学”という視点で、教会について共に考えていきたいと思えます。
土曜日	新約聖書通論③	吉田麻希子師	通年)新約聖書の各書巻の背景を理解し、その内容を把握するための学びです。
	ヘブル語釈義③	松元 潤師	文法を学んだ方が受講できます。 神のみことばをまっすぐに解き明かすための備えとして、釈義の様々な手法を学びます。 単なる知識の習得に終わらず、救いの恵みの深さを味わうことを目標とします。

※1 聴講を希望される方は、聴講願書にご記入の上、学院へご提出ください。所属教会の責任者の推薦が必要です。

(聴講願書は、同封いたしました。足りない場合は、コピーしてください。)

※2 聴講料は1科目につき、1学期間15,000円です。3回に分割して納入することもできます。(1ヶ月5,000円×3回)

複数の科目を聴講し、1ヶ月の聴講料が20,000円以上になる場合は、20,000円を超過した分は免除となります。